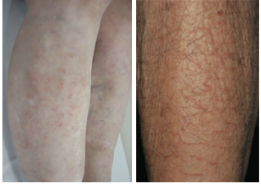



『外来で鑑別診断に困ったら 季節をヒントに皮膚を診る』（2023年3月 第1版第1刷）に誤りがありました。
ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2023年3月17日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤りの箇所	正しい記載
p.12	<div data-bbox="300 443 641 510" style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p>■ 皮脂欠乏性皮膚炎 (図3) 冬の寒さと思われがちだが、春も同じ程度であり、皮膚量も少ない時期であるため発症しやすい。初期の症状は皮膚の乾燥、細かな鱗屑、わずかな痒みくらいだが、進行に伴って皮膚の粗硬化や痛痒の増加がみられ、かゆみと掻破により炎症が引き起こされ湿疹化する。湿疹としては下腿や背中にみられやすい。かゆみが出現することで、大抵は1週間程度で治癒を行い悪化がみられることもある。</p> </div> <div data-bbox="319 537 683 721" style="text-align: center;"> <p>図3 下腿の皮脂欠乏性皮膚炎</p>  </div> <div data-bbox="300 728 641 795" style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p>■ 皮脂欠乏性皮膚炎 (図3) 冬の寒さと思われがちだが、春も同じ程度であり、皮膚量も少ない時期であるため発症しやすい。初期の症状は皮膚の乾燥、細かな鱗屑、わずかな痒みくらいだが、進行に伴って皮膚の粗硬化や痛痒の増加がみられ、かゆみと掻破により炎症が引き起こされ湿疹化する。</p> </div> <div data-bbox="319 801 518 996" style="text-align: center;"> <p>図4 汗疱</p>  </div> <div data-bbox="550 801 746 884" style="color: red;"> <p>こちらの囲み内文章が、 正しくは右記のとおり でした。</p> </div> <div data-bbox="718 555 901 616" style="color: blue;"> <p>同一の文章が入って おります。</p> </div>	<p>4. 汗疱 (図4) 寒暖差が大きく昼間の気温が上昇するようになると、手掌、手指腹部、手指側縁部などに小水疱が多発し、激しいかゆみが生じる。水疱は徐々に乾燥し、落屑が生じるようになる。季節が進むと自然に軽快することが多いが、しばらく再発を繰り返すことも多い。</p>